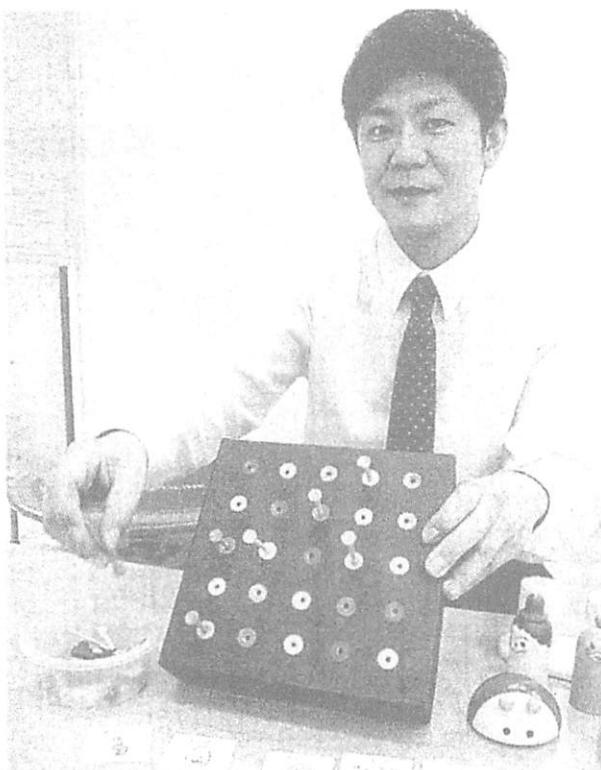


NPO児童サービスたくみ理事長

大歳 太郎さん(37)＝西宮市



近年増えていく発達に遅れがある子どもを支援しようと、今年1月にNPO法人を立ち上げた。特に、症状が軽かったり、知的レベ

る。現在は、NPO法人を運営すると同時に、関西福祉科学大学の教授として教壇につ。

グレーベーンの子ど

もは、学校では普通学級に通うため、先生によつては適切な支援が受けられず、症状が悪化する場合もある。保

想像することが苦手な子どもが多いため、NPOサービスでは、表

問い合わせは、NPO児童サービスたくみの電話番号(0798・54・7530)。などで視覚に訴え、理解する練習をする。また、手先が不器用な子

ルが高いなどで医師の診断がつかない「グレーベーン」の子どもを対象としている。

作業療法士として、市内の肢体不自由児の施設で働いた経験があ

る。「子どもが安心できる場所を作りたい」と、NPOを立ち上げ、児童デイサービスを始めた。相手の気持ちを伸ばし、社会生活に適応する手助けができる

## 発達障害児に居場所を

2011.6.11  
毎日新聞

【大沢瑞季】